

---

**大日方邦子選手、ダウンヒルで優勝！**  
**～2009 IPC 障害者アルペンスキー・ワールドカップ・ファイナル～**

---

大日方 邦子（おびなた くにこ）選手（所属：電通パブリックリレーションズ）は、今季の総合チャンピオンが決まるシリーズ最終戦「2009 IPC 障害者アルペンスキー・ワールドカップ・ファイナル」で、3月11日（日本時間3月12日）、ダウンヒル（滑降）で優勝いたしました。

この大会は、2010年バンクーバー・パラリンピックのアルペンスキー会場で行われるプレ大会でもあり、本番と同じコースで行われています。

ダウンヒルは、長い滑走距離と速いスピードが不可欠なため、日本の環境では練習が難しい種目。しかし、そんな不利な状況にも関わらず、2日間の公式練習を経て臨んだ今日のレース本番で、圧倒的なパフォーマンスを披露した、女子座位の大日方選手。練習で得た経験を本番の滑りに見事に昇華させ、2位を4秒以上も引き離し、文句なしの優勝を果たしました。大日方選手は、1998年の長野パラリンピックでこの種目の金メダルを獲得し、さらに2006年トリノ・パラリンピックでも銀メダルに輝いている実力者。先シーズンはケガに泣かされ、今シーズンも序盤はなかなか調子が上がりませんでした。久しぶりに本来の持ち味を取り戻し、表彰台の中央に帰ってきました。

■■■ 大日方邦子選手コメント ■■■

「表彰台の中央からずっと遠ざかっていたので、こうして勝つことができ、応援してくれた皆さんにまずは感謝したいです。ダウンヒルは、日本チームとしてはトレーニングが十分にできていない種目なので、勝つのはすごく難しいと思っていました。だから今日は、今の自分のできる限りの滑りをしようと思ってスタートしました。2010年に開かれるパラリンピックのプレ大会で勝てたことは、来年に向けて、自分自身にも日本チームにも弾みをつけることができたのではないかと思います」

■■■ 成績 ■■■

【女子座位】

- 1位 大日方邦子（株式会社電通パブリックリレーションズ）
- 2位 ローリー・スティーブンス（アメリカ）
- 3位 クラウディア・ロシュ（オーストリア）

【男子座位】

- 1位 ジョシュア・デュエック（カナダ）
- 2位 クリストファー・デブリン・ヤング（アメリカ）

3位 狩野 亮 (株式会社マルハン)

■■■ 障害者アルペンスキー・ワールドカップとは ■■■

毎冬、世界各国の会場を転戦しながら行なわれている最高峰のシリーズレース。順位に応じて1戦ごとに与えられる得点によって、シーズン総合のチャンピオンを決定する。

■■■ 大会概要 ■■■

【期間】 2009年3月9日～3月14日

【会場】 ウィスラー(カナダ)

【大会日程】

- 3月9日 ダウンヒル(滑降) 公式練習
- 3月10日 ダウンヒル(滑降) 公式練習
- 3月11日 ダウンヒル(滑降)
- 3月12日 スーパーコンビ(スーパー大回転+回転)
- 3月13日 ジャイアントスラローム(大回転)
- 3月14日 スラローム(回転)  
閉会式



女子座位で優勝を果たした大日方邦子選手 (撮影=堀切 功)



メダルを手にして笑顔の大日方邦子選手（右）と狩野亮選手（撮影＝堀切 功）

■IPC アルペンスキーオフィシャルサイト（大会リザルト）

<http://www.ipcalpinefinals2009.com/event/results/tabid/448/language/en-CA/Default.aspx>

■日本障害者アルペンスキーチームオフィシャルサイト

<http://www.jasd.info/>

■大日方邦子選手の公式ウェブサイト

<http://obinata-ski.com/>

<お問い合わせ先>

株式会社電通パブリックリレーションズ 広報室

Tel : 03-5565-2740 Fax: 03-5565-8658 E-mail: [info@dentsu-pr.co.jp](mailto:info@dentsu-pr.co.jp)

東京都中央区銀座 2-16-7 <http://www.dentsu-pr.co.jp/>

<日本選手に関する基本情報について>

日本障害者アルペンスキーチーム 事務局長 大淵好幸

携帯電話 : 090-1053-6806 E-mail : [ofuchi.yoshiyuki@sajd.com](mailto:ofuchi.yoshiyuki@sajd.com)